

## 令和5年度 第2回 神久呂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月23日（金） 14時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 神久呂小学校 多目的室
- 3 出席委員 谷野 協司、和久田 明弘、谷井 文明、中村 典子、尾高 理恵、  
佐野 晃希、和久田 ゆかり
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 山田 英明（校長）、高倉 健二（教頭）、辻村 真一（教務）、  
春田 元彦（CS担当）、山本 一未（CS担当）、伊藤 由紀（CS  
ディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 由紀
- 9 議長の選出  
谷井委員の立候補により、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
  - (1) 今年度の目標について
  - (2) 学校評価の視点について
  - (3) 学習支援ボランティアについて
- 11 会議記録  
司会の佐野委員から、委員総数7人全員の出席があり、過半数に達しているため、  
会議が成立している旨の報告があった。
  - (1) 今年度の目標について
    - ・令和4年度学校運営協議会自己評価において承認された、令和5年度の目標に基づき、今年度の目標を次のようにしたいと思う。（谷野会長）
      - 学校側からの要望を受け、地域の多くの人にボランティア内容を周知し、参加していただけるようにする。
      - 地域と学校が連携し、キャリア教育の視点を大切にした特色ある学校づくりを行い、その活動内容を地域に広めていく。

協議の結果、全員意義なく「神久呂小学校運営協議会 令和5年度目標(案)」について承認した。

## (2) 学校評価の視点について

議長の指示により、辻村教務主任から、学校評価項目について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・低学年の質問の表記をひらがなにするだけでなく、低学年にわかりやすい言葉に変えた方が、確かなデータがとれるのではないか。(和久田委員)
- ・「学びが深まる」「自分の成長や学習の目的を意識して学習を進める」「楽しく心と体をきたえる」は低学年にはわかりにくいのではないか。(尾高委員)
- ・あいさつの項目は、低学年と高学年で言葉を変えるだけでなく、内容も変えた方がいいのではないか。低学年ならこのくらいあいさつできればいい、等。  
(和久田副会長)
- ・我が子のアンケートは保護者に知らされているのか。保護者が我が子のアンケート内容を知ることによって、親子関係において安心材料になるのではないか。  
(和久田委員)
- ・逆に親に知られると思うと、子供は正直に回答できないかもしれない。  
(中村委員)

⇒どの学年にもわかりやすい表現になるよう修正していく。今後も参考意見を頂きたい。(辻村教務主任)

## (3) 学習支援ボランティアについて (中村委員)

- ・今年度は1学期から支援活動を始めており、地域の方もたくさん参加頂いている。別紙資料のとおり、今年度の支援活動を計画しているので、今後も御協力をお願いしたい。
- ・学習支援ボランティアの活動の様子を見て、子供たちにとって楽しく学べる機会になっているか、気がかりなところがある。支援の目的は、作品を完成させることではなく、子供たち自身が楽しく学び、できるようになることなので、その点をご理解頂けるように、周知していきたい。

中村委員からの説明を受けて以下の発言があった。

- ・手伝えばいいということではない。その点を理解して御協力頂くことが大切である。(和久田委員)

## 12 その他報告事項等

- 林間学校、修学旅行の実施について (高倉教頭)
  - ・コロナも第5類となり、林間学校、修学旅行も気を付けながら実施していく。修学旅行に関しては、東京方面を計画している。
- 150周年記念・新校舎完成記念事業計画について高倉教頭より報告があった。
- 次回会議は、令和5年11月28日(火)午後1時30分から神久呂小学校多目的室で開催する旨の連絡があった。